

# 第3号



ニュース

ニュース

### \*加盟団体\*

- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダーズ
- ・湧永製菓
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カープ

《コカ・コーラWRS 成績》

▽第5節	○2 (2-0, 0-0) 0南都銀行
	○5 (3-0, 2-0) 0立命大
▽第6節	○2 (2-1, 0-2) 3ソニー
	○4 (1-0, 3-0) 2東海学院
▽最終節	○2 (1-1, 1-0) 1天理大
	▽2 (1-0, 0-0) 2山梨学院
※最終成績 10勝2分け2敗	



## 日本リーグ悔しい2位 得点王に新加入の張希先



### 加藤が退部

前田・内富は現役引退

元日本代表の05年から初の主将を務めた加藤陽一選手は、引退を表明した。

また、主将でセッターの山内悟選手、左腕の富田浩一選手が現役を引退した。今後は社業に専念する。



### 新部長に栗生澤氏就任 山下部長はGMに

新部長に栗生澤淳一副部长が7月1日付けで就任する。92年のバルセロナ五輪にセンターとして活躍。現役を退いたあと中大の監督を務めたあと06年にコーチに就任した。アントロポフ監督が体調を崩した一昨年には監督代行として全日本選手権優勝に導き、昨シーズンから副部长を務めた。山下仁部長はゼネラルマネージャーに就任する。

ホッケーの日本リーグ女子は21日、山梨学院ホッケースタジアムでの4試合でシーズンを終えた。初優勝を目指したコカ・コーラウエストレッドスパークスは、10勝2分け2敗、勝ち点32でソニー宮と並んだが、得失点差で2位となった。参入5シーズン目で最高の成績。

最終節での逆転をかけての戦いは、天理大には貴重な白星で最終戦に希望をつないだ。しかし、1敗を喫している山梨学院に悔しい引き分け、ソニー宮が天理大に敗れたが、得失点差で及ばなかった。ソニーは3年連続4度目の優勝。

個人賞では新加入の張希先が9得点で得点王に輝いた。MVP、新人賞、ベストイレブンは後日発表される。



④過去最高の2位得点王に輝いた張希先

### 吉川・山口が 日本代表候補

日本ホッケー協会は今年2月から選考合宿を重ね日本代表(さくらジャパン)候補31人を決めた。

コカ・コーラウエストレッドスパークスからはGK吉川由華、FW山口千恵美の2人が選出された。

吉川は昨年の北京五輪代表、山口は2004年にユース日本代表に選ばれており、日本代表候補選出は初めて。

代表女子と合同合宿

### いよいよシーズンイン



実業団ハンドボール界がいよいよシーズンを迎える。7月8日に開幕する全日本実業団選手権。湧永製菓は2年ぶり、メイプルレッズは4年ぶりの頂点を目指す。



大会には男子が12チーム、女子6チームが参加する。男子は予選トーナメントのあと決勝リーグ、女子は予選リーグのあと決勝トーナメントで覇者を決める。

湧永製菓は予選トーナメント2回戦で八光自動車工業とトヨタ車体の

勝者と決勝リーグ進出をかける。メイプルレッズは予選リーグB組でオムロン、ソニーセミコンダクタ九州と戦う。きびしい戦いが続きそうだが、有力新人を加え再生メイプルの意地を見せ、今シーズンへ好スタートを切りたいところだ。

今冬、中国で開かれる世界選手権に出場する日本女子代表と5月下旬、広島市中区スポーツセンターで合同合宿を行った。

連日、練習試合を行い、貴重な実戦の経験を積んだ。呉龍基監督は「滅多にない機会」と大声で指示を出していた。

# 6年連続4強



三菱電機を下し準決勝進出を決めて喜ぶ広島ガス



## 全日本実業団

17日から5日間、全日本実業団選手権は広島県で開幕。広島ガスは準決勝に進出したが、6年連続4強入りしなかった。

## 中国実業団大会

中国実業団大会は5月30、31日に岡山県玉野市総合体育館で行われ、昨年逃した女王の座を奪回した。

大会にはA、Bの2チームが参加。予選リーグのあと決勝トーナメントに進出。決勝はA、Bチームの対決となりAチームがBチームを2-0で下して2年ぶり12度目のタイトルを握った。

予選リーグではいずれも2位だったが、準決勝ではともに快勝し決勝に進出した。

### ▽準決勝

○A 2-0 三洋電機CE・A 日野・小池 2-0 宮崎・藤原、寺本 2-1 宮崎

○B 2-0 山陰合同銀行 早川・橋本 2-0 吉岡・藤原、山本 2-0 藤原

### ▽決勝

○A 2-0 B 日野・小池 2-1 早川・橋本 後藤 2-0 井上

# 女王の座奪回

## 日野・小池ペア 健闘の3位入賞

日本ランキングサーキット大会が5月23日から4日間、さいたま市記念総合体育館で開かれ、ダブルスで日野・小池組が健闘、3位に入賞した。また寺本・早川組とシングルの後藤は17位となった。

### 【ダブルス】

▽1回戦 日野・小池 2-1 奥・菅野 (NTT東日本、法大)、寺本・早川 1-2 脇田・江藤 (岐阜トリッキーバンダース、東海学院大) ▽2回戦 日野・小池 2-1 中原・本間 (青山学院大) ▽準々決勝 日野・小池 2-0 三木・米元 (三洋電機) ▽準決勝 日野・小池 0-2 赤尾・今別府 (ヨネックス) ▽17位決定戦 寺本・早川 (不戦勝) 板垣・宮内

### 【シングルス】

▽1回戦 後藤 0-2 幡谷 (NEC SKY) ▽17位決定戦 後藤 (不戦勝) 打田 (日本ユニシス)

決勝進出はならなかったが、粘り強いプレーを随所に披露した。

準々決勝の三菱電機 (兵庫) 戦を地元の意地で競り勝ったあと準決勝のNEC・SKY (熊本) 戦。3-0で敗れはしたが、第2ダブルスで日野・小池ペアが北京五輪ダブルス4強のスエマエと大接戦。1-1からの最終ゲームで一時は3点リードする大健闘。惜しくも逆転負けしたが、スタンドから声援を背に「あわや」のシーンを演じた。

### 《広島ガス 戦いの跡》

【決勝トーナメント】1回戦 ○3-0 三洋電機CE (鳥取) ▽準々決勝 ○3-2 三菱電機 (兵庫) ▽準決勝 ●0-3 NEC・SKY (熊本)

## スポーツフェスタに参加 トップス加盟の5チーム

13日に広島グリーンアリーナで行われたスポーツフェスタ2009にJT、メイブルレッズ、広島ガス、NTT西日本広島、中国電力の5チームが参加。体力テストやスポーツ教室、ファンの集いでスポーツの楽しさをアピールした。

高西・田村GMが受賞  
JTLトロフィー  
メイブルレッズの高西宏昌 (写真右) コカ・コーラウエストレッドスパークス田村洋二両GMが2008年度トップリーグ (JTL) トロフィーを受賞した。この賞は加盟9リーグの運営・マネージメントに貢献したGMらに贈られるもので、今回が3回目。



## 決勝T進出逃す



## ナビスコ杯

◆J1リーグ結果◆

第13節	○1 (1-0, 0-0)	0大分	九石ス
第14節	●4 (2-0, 2-3)	3神戸	広島ビ

◆ヤマザキナビスコカップ◆

▽予選リーグA組

第4節	○7 (3-0, 4-0)	0大宮	広島ビ
第5節	▽2 (1-1, 1-1)	2大分	九石ス
第6節	○5 (3-1, 2-0)	1新潟	広島ビ
第7節	●1 (0-1, 1-1)	2磐田	鴨池

ナビスコカップは予選リーグが終わり、3勝1分け2敗、勝ち点10で3位となり、上位2位までが進出する決勝トーナメント進出を逃した。

引き分けでも進出が決まる磐田戦。中盤できびしいプレスにあい、持ち前の運動量も影を潜めた。結局面をつかめないまま失点。後半にも追加点を奪われ、佐藤寿のゴールだけに終わった。

## 榎野が初の日本代表選出

日本代表が4大会連続で初められた。D.F.最終予選に出場した。榎野は2007年U-15に代表選出された。今季は15試合に出場している。榎野は2007年U-15に代表選出された。今季は15試合に出場している。

## 岩永は準優勝

中国地区選手権は5月24日、福山市竹ヶ端運動公園などで開かれた。

一般男子の部では中堀・高川ペアは3位となった。一方、足利 (クラレ岡山) とペアを組んだ岩永が準優勝するなど気を吐いた。

### 女子

大庭・塔田は3位

水間・榎本は2位

一方、一般女子の部は水間・榎本が2位、大庭・塔田は3位に入ったほか、佐々木・山本ペアと熊鳥・伊東ペアがそれぞれベスト8に入った。



# 中堀・高川は3位

## 中国電力 陸上競技部 岡本に注目

25日から広島で日本選手権

日本選手権は25日から広島ビッグアリーナで開かれる。この大会には1万5000人に岡本、佐藤、尾崎、藤森がエントリーしており、5月に世界選手権参加標準記録Bを出した岡本の走りが注目される。

このほか15000人に田子、5000人に新井、3000人に黒田がエントリーしている。活躍を期待しよう。



### \*ロゴマークの意味\*

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニアの選手がトップの選手を目指し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。